

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	07	0405	自然環境保全活動推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	2	自然環境の保全			
目的	早池峰国定公園地域の自然環境保全					
対象	早池峰国定公園地域の自然、登山者					
意図	早池峰国定公園地域の自然環境の保全を図るとともに、登山者の安全確保を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 自然公園保護管理員設置 早池峰地域に係る自然公園保護管理員設置（期間 5月～10月）4人 <input type="checkbox"/> 早池峰国定公園地域協議会負担金 一般会計、特別会計に係る負担金 <input type="checkbox"/> 早池峰環境保全バス運行事業補助金 登山客のマイカー等乗り入れを抑えて自然環境の保護を図るため、6月～9月の第2土・日曜日1往復の運行						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛		<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 補助・助成 <input type="checkbox"/> 事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	自然保護管理員活動日数(1人当たり)	日	計画	100	100	
			実績	100	100	
②	早池峰山登山者	人	計画	16,000	16,000	
			実績	17,832	13,620	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
県、市、関係機関や自然公園保護管理員による登山マナーアップの呼びかけや高山植物等盗掘防止パトロール活動により自然環境の保全が図られる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	自然公園の管理については行政が行う必要があり、県は公園全体の管理、市は県からの委託により保護管理員を設置するなど、それぞれ業務を分担し対応している。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	自然環境の保全は確保されつつも、初心者に対する携帯トイレの普及や登山道以外への進入による高山植物の踏みつけなど、登山マナーについては向上の余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費について、自然保護や登山者の事故防止の観点からも自然公園保護管理員の削減は難しい。人件費について、県・市・関係機関との調整及び現地管理業務のため、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	早池峰国定公園地域全体の自然環境の保全が図られるので公平・公正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
効率性の観点においては、広範囲な早池峰地域の管理を行ううえでこれ以上の事業費の削減は難しいが、引き続き関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動により自然環境の保全に努めるものである。 また、山頂避難小屋の携帯トイレ化が通年化され、すべての登山者に携帯トイレの使用について理解を求める必要があることや高山植物の盗採跡が見られるなど、登山マナーの向上について登山者に呼びかけていく必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域支援室 担当係長 藤原正己 内線 9-20-220  
(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0405	自然環境保全活動推進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,716	3,600		△ 116
財源内訳	国・県	1,555	1,555		
	地方債	2,000	2,000		
	その他	125			△ 125
	一般財源	36	45		9

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
豊かな自然と生活環境の保全に努める

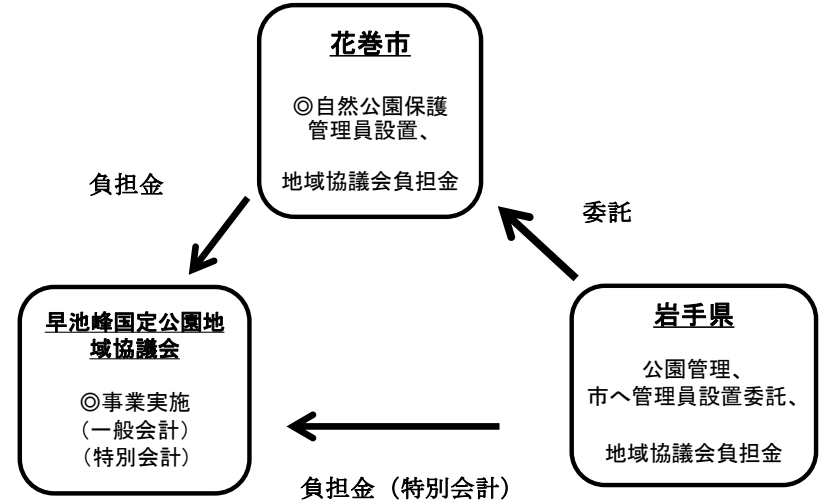
事業開始の背景・経緯  
県では自然環境保全のため自然公園保護管理員を設置しているが、早池峰国定公園については花巻市・遠野市・宮古市へ委託し、自然保護管理員を設置している。また、平成21年度に早池峰国定公園地域協議会を結成し、共同で自然保護などの事業を推進している。

事業概要  
○自然公園保護管理員設置  
早池峰地域に係る自然公園保護管理員設置（期間5月～10月）4人  
○早池峰国定公園地域協議会負担金  
一般会計、特別会計に係る負担金  
○早池峰環境保全バス運行事業補助金  
登山客のマイカー等乗り入れを抑えて自然環境の保護を図るため、6月～9月の第2土・日曜日1往復の運行

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

自然環境保護を推進する立場から、登山シーズンにおける車両交通規制を継続が必要との意見が多い半面、規制のない平日の登山者率が多くなった。  
自然公園保護管理員は岩手県から委託を受けて設置しているが、平成26年度は県からの委託日数が10日減らされたことから業務日数を減らさざるを得なくなった。  
早池峰線の花巻便は、平成25年度にバス利用者数の減少により路線バスが撤退した経緯があるが、運行方法を見直すことにより、採算が確保できるか終期を設定し試験運行する。

《事業手法の詳細》



早池峰国定公園地域協議会		事業内容	構成団体
一般会計	山開き、山頂等清掃、高山植物盗採パトロール	花巻市、遠野市、宮古市	
特別会計	早池峰シャトルバス運行にかかる交通規制周知	花巻市、遠野市、宮古市、岩手県、岩手県交通	

事業費

- 自然公園保護管理員設置 2,664千円 (H26 2,694千円)
- 早池峰国定公園地域協議会負担金 740千円 (H26 740千円)
- 早池峰環境保全バス運行事業補助金 156千円 (H26 282千円)